

## 船舶事故調査報告書

平成23年9月15日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 石川 敏 行

事故種類	火災
発生日時	平成22年8月22日 06時10分ごろ
発生場所	三重県志摩市麦埼東方沖 麦埼灯台から東方300m付近 (概位 北緯34°14.8′ 東経136°51.0′)
事故調査の経過	平成22年8月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 はなぶさ丸、2.0トン ME3-50901（漁船登録番号）、個人所有 9.10m(Lr)×2.16m×0.80m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数60、昭和58年1月
乗組員等に関する情報	船長 男性 80歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年12月19日 免許証交付日 平成16年11月15日 (平成22年10月28日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	全損
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、麦埼東方沖において漁ろうに従事中、平成22年8月22日06時10分ごろ、操舵室内の計器類の表面が水滴で曇っていたことから、船長が機関室の点検を行うために機関室入口の扉を開けたところ、機関室内に白煙が充満しており、同室左舷側の壁付近から炎が上がった。 船長は、バケツで水をかけて初期消火を行ったが消火できず、付近にいた僚船に移乗して救助された。 その後、本船は、僚船等の海水放水による消火活動で鎮火したが、沈没した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 1 海象：海上 平穏
その他の事項	本船の機関室左舷側壁付近には、船尾側バッテリー室から配線された船内及び主機始動用電源のメインスイッチ並びにビルジポンプが設置されていた。 本船の電気配線は、本船の進水時から点検及び交換が行われていなかった。 本船は、船長が毎年11月から翌年の4、5月までアオサノリ採取の手伝いをしているため、平成21年11月からほとんど使用されていなかった。

	<p>た。</p> <p>本船は、主機の冷却水温度が高かったことから、8月初旬に主機整備業者によって冷却海水ポンプ等の点検が行われたが、異常は認められなかった。</p> <p>本船は、本事故後、引き揚げられて地元消防が出火原因の調査を行ったが、各種機器等が脱落して紛失していたことから、出火原因の特定には至らなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>本船は、麦埼東方沖において漁ろうに従事中、機関室から出火したことから、火災に至ったものと考えられる。</p> <p>本船は、メインスイッチ付近の電気配線が漏電して発火した可能性があると考えられるが、出火した経過を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、麦埼東方沖において漁ろうに従事中、機関室から出火したため、火災に至ったことにより発生したものと考えられる。</p>	